

東京中央区で連携講座開講 本学教授 4 人がオムニバス形式で登壇

本学研究推進産学官連携機構と東京サテライトオフィスは 11 月 7 日から、東京都中央区の文化・生涯学習「中央区民カレッジ・まなびのコース」で、連携講座「科学技術の最前線」を開講しています。同 28 日まで。

昨年度から築地社会教育会館（同区）で開催。本年度は 4 人の研究者がオムニバス形式でわかりやすく研究成果を発表していきます。

初回は、大学院環境生命科学研究科の吉川賢教授が「黄砂飛来や砂漠化と戦うための基礎と技術」の演題で講義。乾燥地の植物の特徴や、砂漠化の状況と修復などについて話しました。区民ら約 50 人が聴講し、地球温暖化の影響などについて熱心に質問していました。



野木本部長の挨拶



中央区社会教育主事の藤岡様より挨拶



講師の吉川賢先生



熱心に聴く参加者



説明される吉川先生



参加者の皆さん



会場の様子



質問に答える吉川先生